

## 平成26年の相模原市の自殺統計について

本市では毎年多数の方が自ら命を絶っています。

自殺は、生命の尊厳に関わる深刻な問題であり、本市では、民間団体との連携等を通して、様々な角度から自殺対策の取組を進めています。

その取組の一環として、神奈川県警察本部から平成26年における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の実態を別紙のとおりまとめましたのでご報告します。

なお、今回の自殺統計の実態を踏まえ、相模原市自殺対策協議会の審議及び自殺総合対策に活用します。

自殺統計の主な内容（詳細は、別紙統計資料をご覧ください。）

市内の自殺者数は、123人となっている。

70歳代が最も多い。

性別では、10歳代及び80歳以上を除く全ての年代で、男性が60%以上を占めている。

職業別では、主婦や学生を含む無職者が65.0%と最も多い。

原因・動機別では不詳を除くと、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題となっている。

自殺者の20.3%に自殺未遂歴がある。

お問い合わせ先  
精神保健福祉センター  
電話 042-769-9818

## 平成 26 年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、集計・分析を行ったので、その結果を報告する。なお、自殺統計原票は平成 19 年から集計が一部変更され、自殺の原因・動機別の項目は複数回答となっている。また、提供されたデータは内閣府発表「地域における自殺の基礎資料（平成 26 年）発見日ベース、発見地」の相模原市分となっている。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年代別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

\* 自殺者数等を示す自殺統計については警察庁自殺統計と厚生労働省人口動態統計があり、主な特徴は以下のとおりである。また、いずれの統計も毎年 1 月から 12 月までの集計となっている。

- 警察庁自殺統計：外国人を含めた総人口が対象、発見地を基に自殺死体認知時点で計上
- 厚生労働省人口動態統計：日本人が対象、住所地を基に死亡時点で計上

### 1 自殺者数・自殺死亡率の推移

相模原市の自殺死亡率は前年から 0.8 ポイント減少しており、神奈川県や全国と比較すると緩やかであるが減少傾向にある（表 1，図 1）。

表 1 . 自殺者数・自殺死亡率の推移

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
相模原市自殺者数（人）	161	120	128	123
相模原市自殺死亡率	22.4	16.7	17.8	17.0
神奈川県自殺者数（人）	1,852	1,644	1,558	1,422
神奈川県自殺死亡率	20.5	18.1	17.2	15.7
全国自殺者数（人）	30,651	27,858	27,283	25,427
全国自殺死亡率	23.9	21.8	21.4	20.0

自殺死亡率とは、10 月 1 日時点の人口 10 万人当たりの自殺者数

全国の自殺者数及び自殺死亡率は、平成 27 年 3 月発表の警察庁資料より抜粋

他の都道府県や政令指定都市の状況は、内閣府ホームページで公表

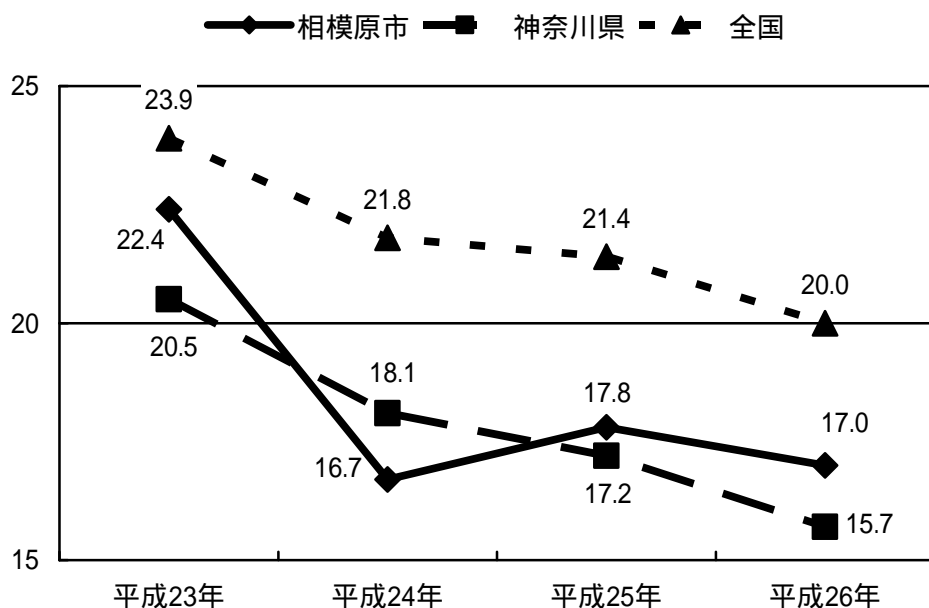


図1．相模原市・神奈川県・全国の自殺死亡率の推移

## 2 自殺者の年代別・男女別状況

平成26年の年代別自殺者数は、70歳代が22人で全体の17.9%と最も多くなっている（表2）。男女別自殺者数は、7対3の割合で男性が多い（表3）。男性は60歳代が15人と最も多く、女性は70歳代が8人と最も多い（図2、図3）。年代別男女別自殺者の割合は、10歳代及び80歳以上を除く全ての年代で男性が60%以上を占めている（図4）。

表2．年代別自殺者数と割合

	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
10歳代	3	1.9	1	0.8	5	3.9	2	1.6
20歳代	21	13.0	16	13.3	12	9.4	12	9.8
30歳代	25	15.5	25	20.8	23	17.9	19	15.4
40歳代	33	20.5	32	26.7	28	21.9	15	12.2
50歳代	17	10.6	17	14.2	21	16.4	20	16.3
60歳代	33	20.5	20	16.7	20	15.6	19	15.4
70歳代	16	9.9	6	5.0	12	9.4	22	17.9
80歳以上	13	8.1	3	2.5	7	5.5	14	11.4
総計	161	100.0	120	100.0	128	100.0	123	100.0

表 3 . 男女別自殺者数と割合

	平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
男性	104	64.6	89	74.2	90	70.3	85	69.1
女性	57	35.4	31	25.8	38	29.7	38	30.9
総計	161	100.0	120	100.0	128	100.0	123	100.0

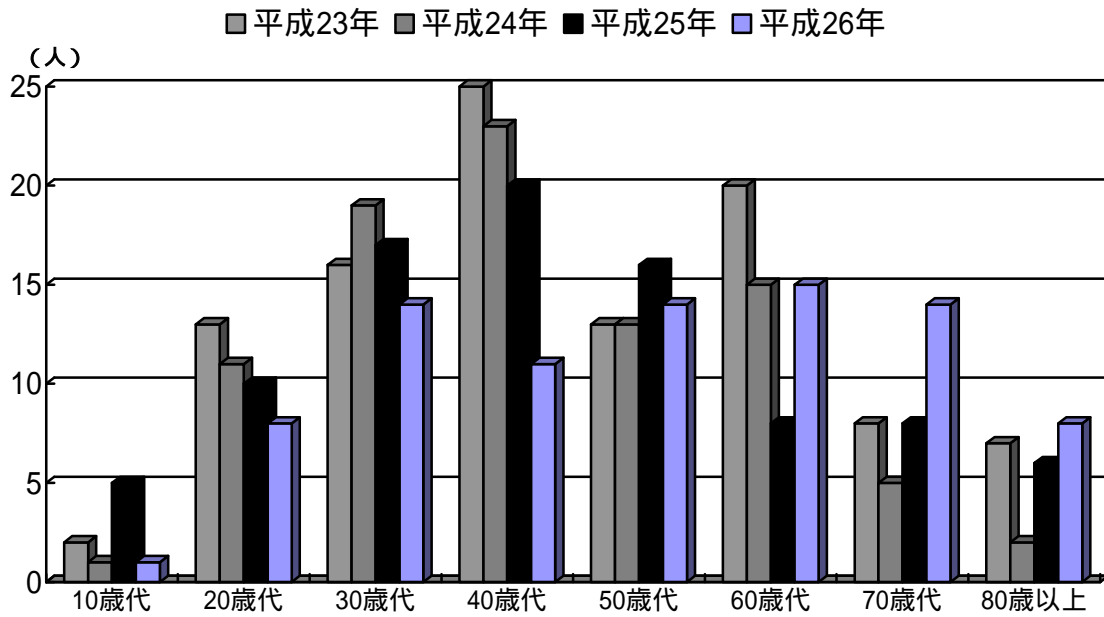


図 2 . 男性年齢別自殺者数の推移

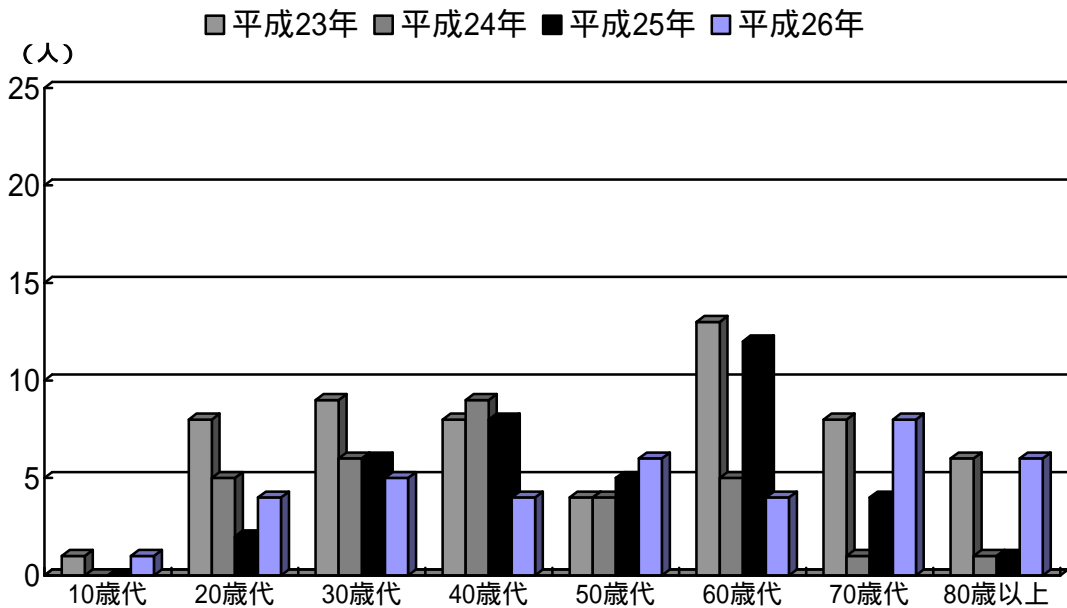


図 3 . 女性年齢別自殺者数の推移

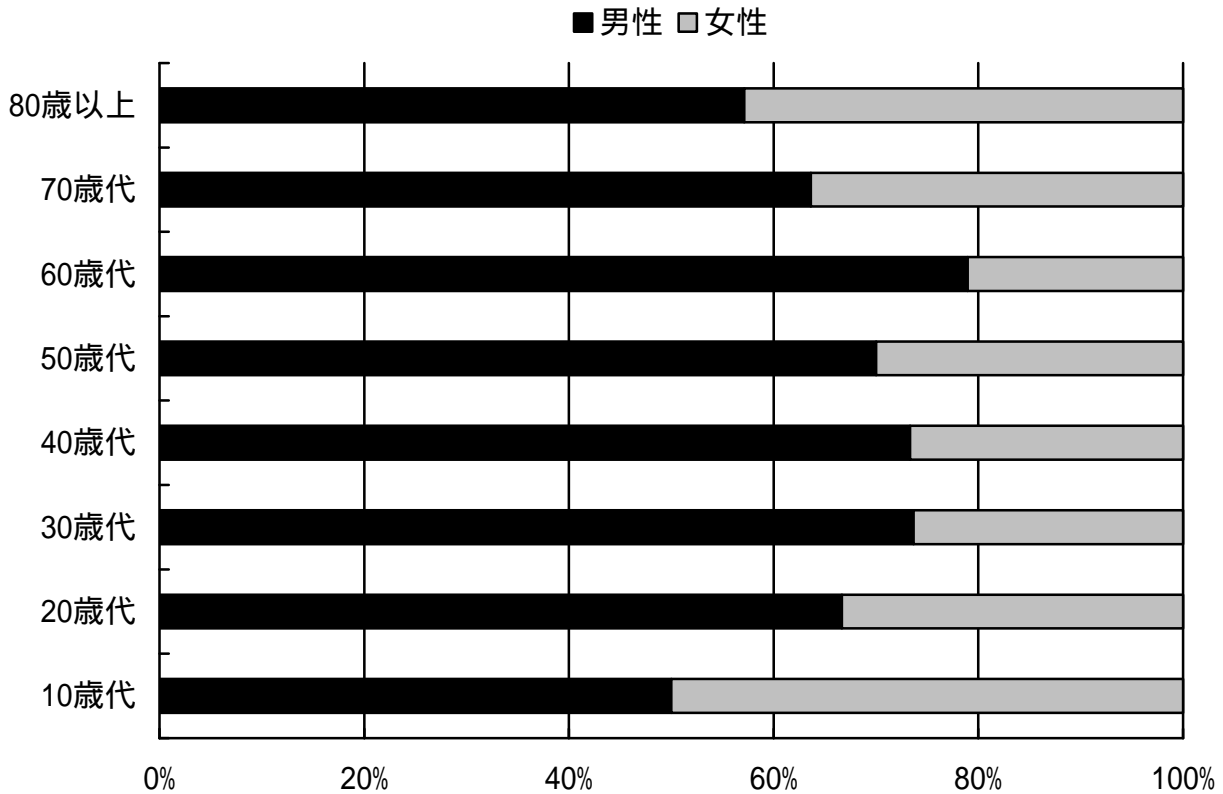


図 4. 平成 26 年における年代別男女別自殺者の割合

### 3 自殺者の職業別状況

平成 26 年の自殺者の職業別状況は、無職者が 80 人で全体の 65.0%を占めている（表 4）。年代別職業の割合は、無職者を除くと、40 歳代、60 歳代で被雇用者・勤め人の割合が高くなっている（図 6）。なお、無職者には学生、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金・雇用保険等生活者、浮浪者、その他無職者が含まれる。

表 4. 職業別自殺者数と割合

	平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
自営業者	10	6.2	10	8.3	8	6.2	8	6.5
被雇用者・勤め人	38	23.6	41	34.2	39	30.5	33	26.8
無職者	108	67.1	65	54.2	75	58.6	80	65.0
不詳	5	3.1	4	3.3	6	4.7	2	1.6
総計	161	100.0	120	100.0	128	100.0	123	100.0

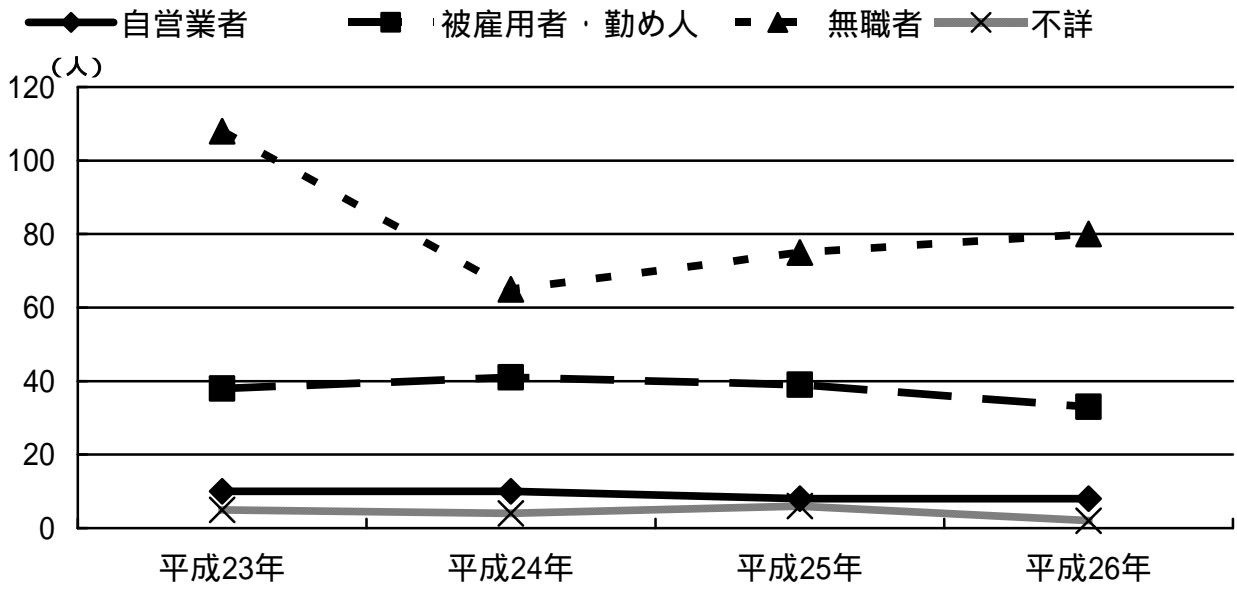


図5. 職業別自殺者数の推移

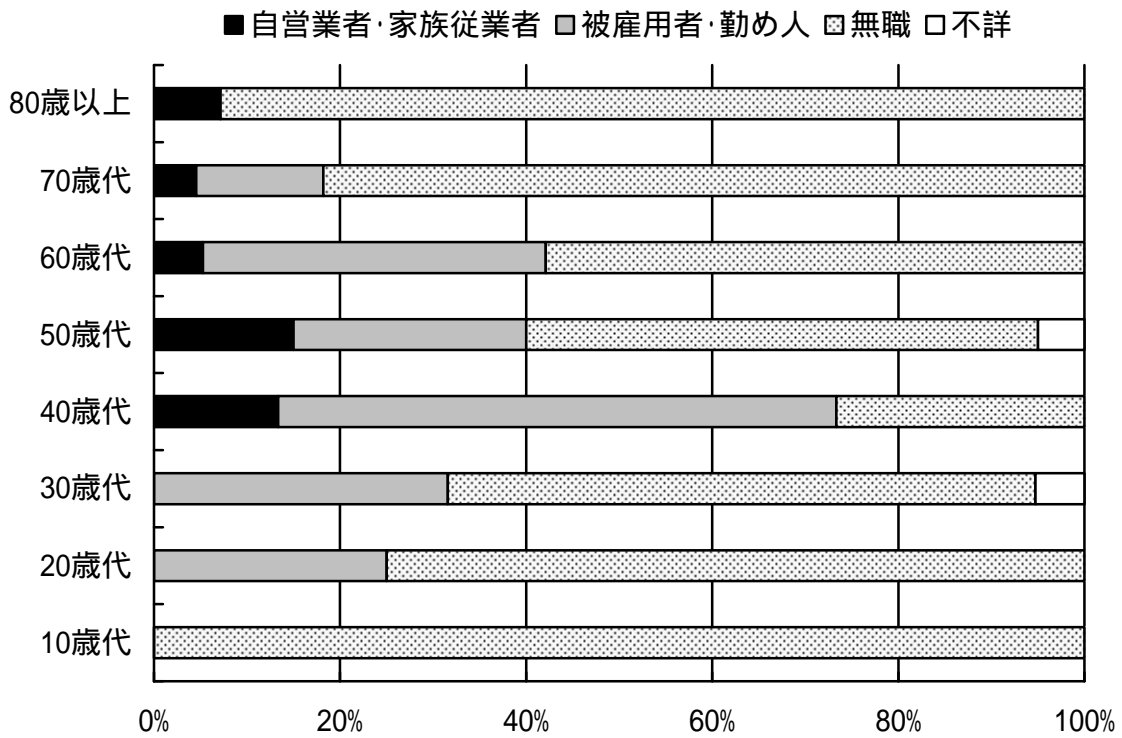


図6. 平成26年における年代別職業の割合

#### 4 自殺の原因・動機

平成 26 年の原因・動機別の自殺者の割合は、不詳を除くと健康問題( 35.8% )、経済・生活問題( 9.5% )、家庭問題( 8.1% )となっている( 表 5、図 7)。原因・動機の判断材料は、遺書が 37.3%を占めており、44.4%が判断材料を残していない( 表 6)。年代別では、不詳を除くと、健康問題が全ての年代で第 1 位または第 2 位の割合となっている( 表 7)。職業別では、不詳を除くと、自営業者で経済・生活問題、被雇用者・勤め人、無職者で健康問題が第 1 位の割合を占めている( 図 9)。無職者では、不詳を除くと主婦、年金・雇用保険等生活者、その他の無職者で健康問題が最も多くなっている( 図 10)。

表 5 . 原因・動機別自殺者数と割合

	平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)
家庭問題	21	10.1	21	14.1	20	12.3	12	8.1
健康問題	62	29.8	41	27.5	41	25.1	53	35.8
経済・生活問題	34	16.4	17	11.4	19	11.7	14	9.5
勤務問題	14	6.7	14	9.4	13	8.0	3	2.0
男女問題	6	2.9	7	4.7	3	1.8	3	2.0
学校問題	3	1.4	1	0.7	1	0.6	1	0.7
その他	5	2.4	7	4.7	12	7.4	6	4.1
不詳	63	30.3	41	27.5	54	33.1	56	37.8
総計	208	100.0	149	100.0	163	100.0	148	100.0

原因・動機は 3 つ以内の複数を計上することが可能であり、割合 (%) については計上数に基づき算出( 母数割)

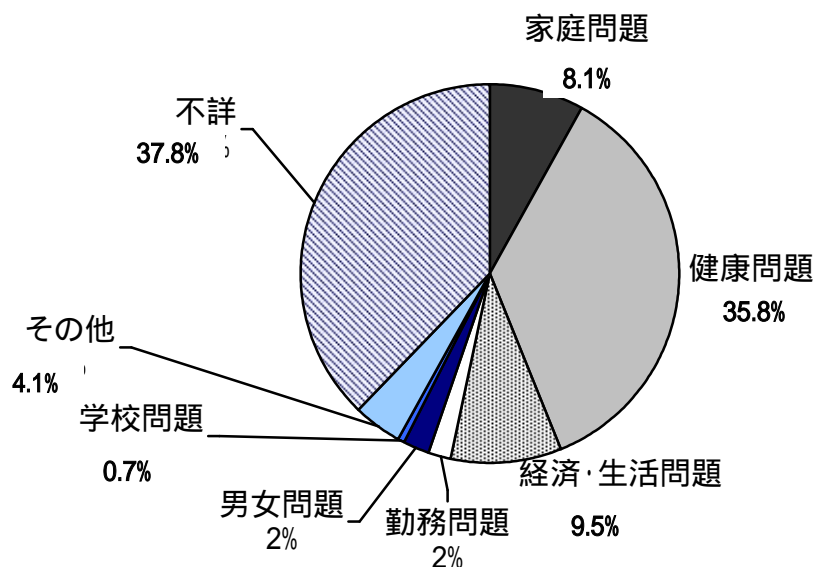


図 7 . 平成 26 年における原因・動機の割合

表 6 . 原因・動機の判断材料

	平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)	計上数	割合(%)
遺書	67	39.9	55	43.7	47	35.6	47	37.3
自殺サイト・メール等 書き込み	12	7.1	10	7.9	6	4.6	2	1.6
その他の生前の言動	28	16.7	20	15.9	25	18.9	21	16.7
該当なし	61	36.3	41	32.5	54	40.9	56	44.4
総計	168	100.0	126	100.0	132	100.0	126	100.0

「原因・動機の判断材料」は複数を計上することが可能であり、割合(%)については計上数に基づき算出(母数割)

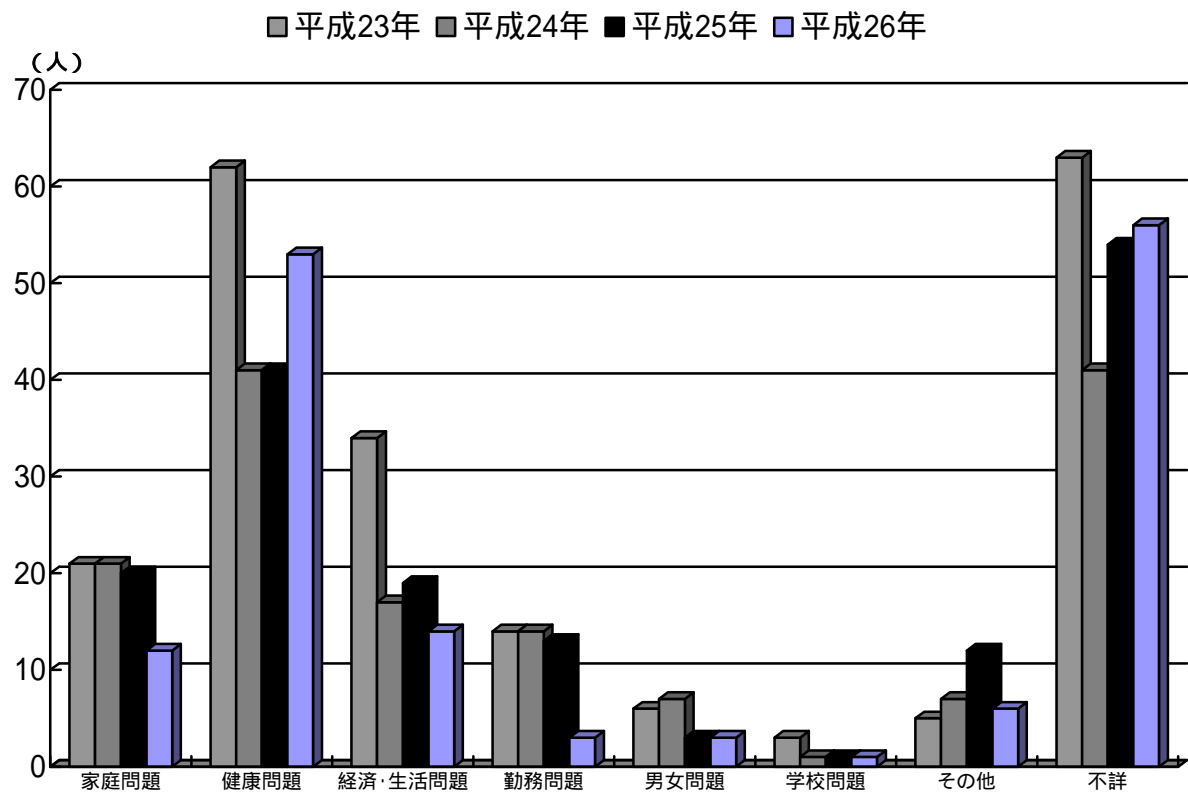


図 8 . 原因・動機別自殺者数の推移



表 7 . 平成 26 年における年代別の原因順位

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
	原因	割合(%)	原因	割合(%)	原因	割合(%)
20 歳以下	健康問題	20.0	経済・生活問題 男女問題	13.3	学校問題 その他	6.7
30 歳代	健康問題	37.5	経済・生活問題	16.7	家庭問題	8.3
40 歳代	経済・生活問題	18.8	家庭問題 健康問題	12.5	男女問題 その他	6.3
50 歳代	健康問題	44.0	経済・生活問題 その他	8.0	家庭問題 勤務問題	4.0
60 歳代	健康問題	26.1	経済・生活問題 勤務問題	8.7	その他	4.4
70 歳代	健康問題	30.8	家庭問題	7.7		
80 歳以上	健康問題	41.2	家庭問題	17.7	経済・生活問題	5.9
全年代	健康問題	35.8	経済・生活問題	9.5	家庭問題	8.1

順位は不詳を除く。

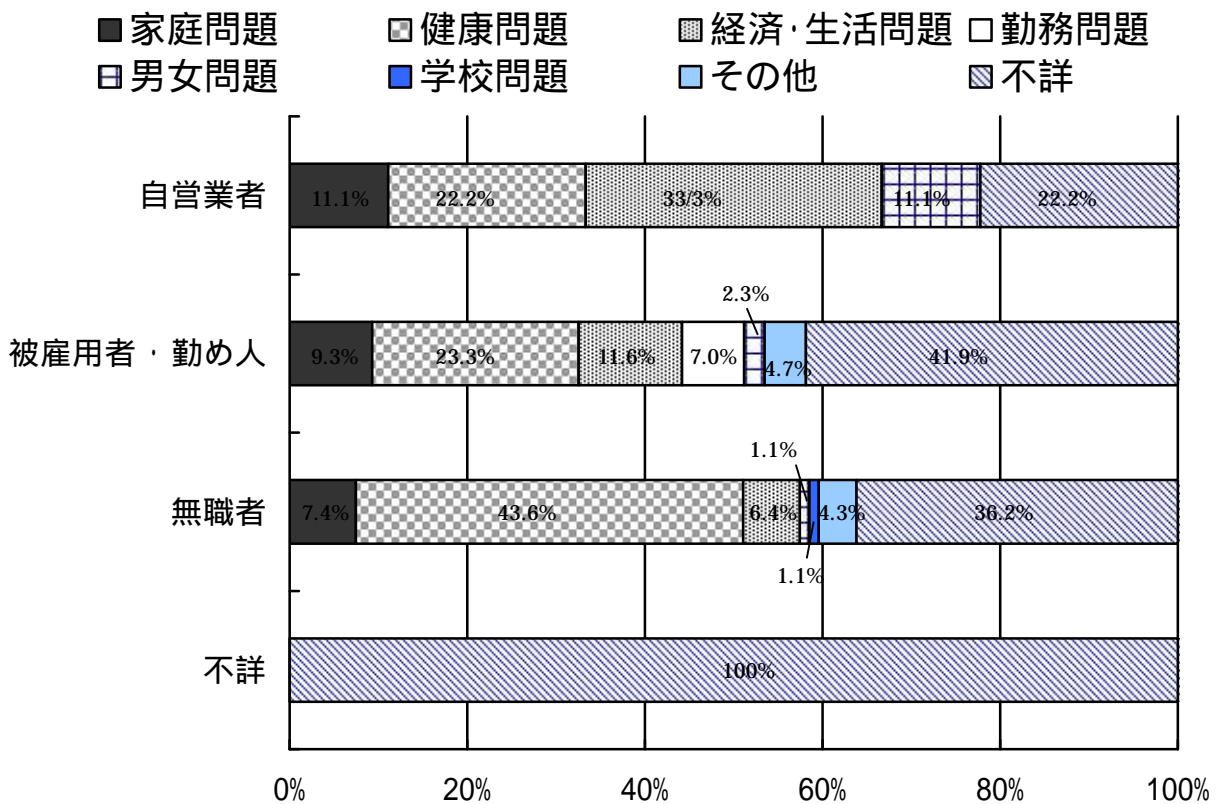


図 9 . 平成 26 年における職業別原因・動機の割合

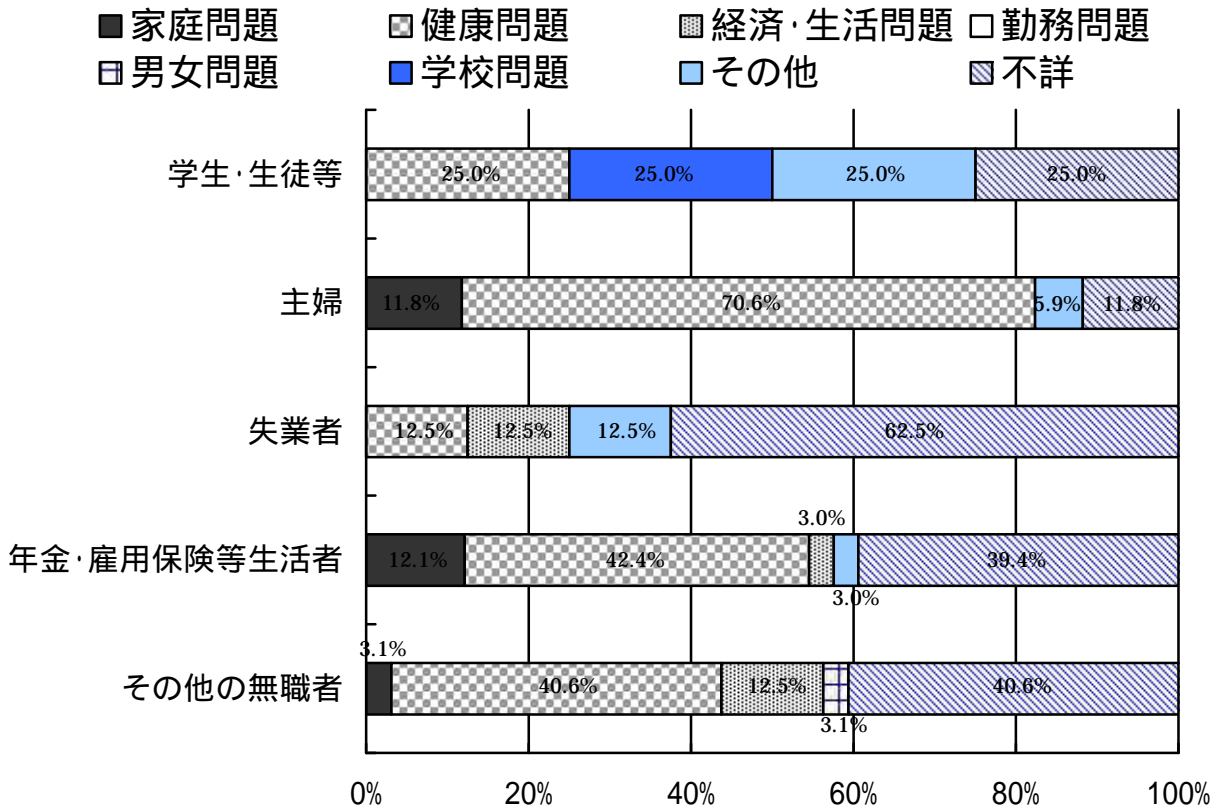


図 10. 平成 26 年における無職者の原因・動機の割合

「利子・配当・家賃等生活者」と「浮浪者」は 0 人であるため図示していない。

## 5 自殺未遂歴の状況

平成 26 年の自殺者の 20.3% に自殺未遂歴があった。男性は 9.4%、女性は 44.7% であった（表 8）。

表 8. 自殺未遂歴の状況

		平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
		自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
未遂歴あり	男性	16	15.4	14	15.7	19	21.1	8	9.4
	女性	14	24.6	11	35.5	14	36.8	17	44.7
	総計	30	18.6	25	20.8	33	25.8	25	20.3
未遂歴なし	男性	70	67.3	48	53.9	50	55.6	57	67.1
	女性	36	63.1	16	51.6	18	47.4	18	47.4
	総計	106	65.9	64	53.4	68	53.1	75	61.0
不詳	男性	18	17.3	27	30.3	21	23.3	20	23.5
	女性	7	12.3	4	12.9	6	15.8	3	7.9
	総計	25	15.5	31	25.8	27	21.1	23	18.7